

132番の歌 私たちは一つになる

夫の皆さん、妻を大切にしましょう

「夫の皆さん、……妻を大切にしましょう」。ペテロ第一 3:7 同じように、夫の皆さん、知識に基づいて(*思いやりを示しつつ/理解を示しつつ)妻と暮らしてください。女性はより繊細な器ですから、妻を大切に(*尊重)しましょう。妻たちも皆さんと一緒に、命という惜しみない恵みを受けるのです。妻を大切にするなら、祈りが妨げられることはないでしょう。

ポイント：夫は妻を大切にしていることを言葉や行動でどのように表せるでしょうか。

1. エホバが結婚という贈り物を与えてくれたのはどうしてですか。

エホバは「幸福な神」です。私たちにも幸せになってほしいと思っています。（テモ一 1:11 その教えは幸福な神の素晴らしい良い知らせと一致しており、私はその良い知らせを託されました）それで、私たちが生活を楽しめるように、たくさんの贈り物を与えてくださっています。（ヤコ 1:17 良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光(*天体の光)の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません(*父には影の移動による変化もありません)。）結婚はその一つです。男性と女性は結婚する時、お互いを愛し、敬い、大切にすることを誓います。2人が結婚の絆を大切にするなら、本当の喜びを味わうことができます。（格 5:18 あなたの泉(*水源)に祝福があつてほしい。あなたは若い時からの妻と喜ぶように）

2. 多くの結婚生活はどんな状態になっていますか。

2 残念ながら、世の中では結婚式で誓ったことを忘れててしまっている夫婦がたくさんいます。そのため、幸せな生活を送れていません。世界保健機関の最近の報告によると、暴力を振るったり、きついことを言ったり、感情を傷つけたりして妻を虐待している夫がたくさんいます。人前では妻を大事にしているように見せ掛けながら、家の中では妻にひどいことをしている夫もいるでしょう。夫がポルノを見ているために、夫婦関係にひびが入っているケースも少なくありません

3. 夫が妻にひどいことをする原因にはどんなものがありますか。

3 どうして妻に対してこのようなひどいことをするのでしょうか。父親が暴力的な人だったために、こうしたひどい行いが普通のことだと考えているのかもしれません。周りの環境に影響されて、“男”なら自分が上であることを力で妻に分からせるものだと考えている人もいるでしょう。怒りなどの感情を抑えるように教わってこなかった人や、いつもポルノを見ているために女性や性に対する見方がゆがんでいる人もいます。それに加えて、新型コロナウイルスのパンデミック

クによってこうした問題が増えたという報告もあります。とはいえ、どれを取っても夫が妻をひどく扱ってよい理由にはなりません。

4. クリスチャンの夫はどんなことに注意する必要がありますか。どうしてですか。

4 クリスチャンの夫は、世の中に見られる女性に対する間違った見方に注意する必要があります。
＊夫の皆さん「ものみの塔」2024年1月号の「エホバと同じように女性を大切にしていますか」という記事をぜひお読みください。人の考え方や見方は行動に影響を与えるからです。パウロは天に行くよう選ばれたローマのクリスチャンに、「今の体制によって形作られるのをやめてください」と警告しました。（ロマ 12:1, 2）そういう訳で、兄弟たち、神の思いやりに基づいて皆さんに強く勧めます。自分の体を、生きた犠牲、神に受け入れられる聖なる犠牲として差し出してください。理性を働かせて神聖な奉仕をするのです。2 そして、今の体制によって形作られるのをやめてください。かえって、考え方を新しくすることによって自分を変化させましょう。それは、神の善い意志、喜ばしい完全な意志を見極めるためです。）パウロがこの手紙を書いた時、兄弟姉妹はクリスチャンになってからしばらくたっていたと思われます。でもパウロの言葉から分かる通り、当時の会衆には世の中の考え方や習慣の影響を受けている人たちがいたようです。それで、パウロはそうした人たちに考え方や振る舞いを変えるようにと強く勧めました。現代のクリスチャンの夫たちも、この助言を真剣に受け止めることは大切です。残念なことに、兄弟であったとしても、世中の考え方の影響を受けている人や、妻にひどいことをしてしまう人さえいるからです。＊家庭内暴力を受けている場合、jw.orgかJW Library®の「DVで悩んでいるあなたへ」という記事が助けになるかもしれません。（ライブラリー > シリーズ記事 > ほかのトピック）では、エホバは夫が妻にどのように接することを望んでいるでしょうか。この記事の主題の聖句から考えましょう。

5. ペテロ第一 3章7節によると、夫は妻にどう接すべきですか。

5 ペテロ第一 3:7同じように、夫の皆さん、知識に基づいて（*思いやりを示しつつ/理解を示しつつ）妻と暮らしてください。女性はより繊細な器ですから、妻を大切に（*尊重）しましょう。妻たちも皆さんと一緒に、命という惜しみない恵みを受けるのです。妻を大切にするなら、祈りが妨げられることはないでしょう。を読む。エホバは夫たちに、妻を大切にするように命じています。夫は妻に愛と敬意を込めて優しく接することによって妻を大切にできます。この記事では、夫が妻を大切にするためにどんなことができるかを考えます。でもまずは、どんなことをすると妻を傷つけることになるかを考えます。

妻を傷つけるようなことを決してしない

6. エホバは妻に暴力を振るう人のことをどう思っていますか。（コロサイ 3:19）

6 暴力を振るうこと。エホバは暴力的な人のことを憎んでいます。（詩 11:5 エホバは正しい人と悪い人を調べ、暴力を愛する人を憎む。）妻を虐待する夫のことはなおのことそうです。（マラ 2:16 私は離婚を憎む」と、イスラエルの神エホバは言う。「暴力を振るう（d*暴力で自分の服を覆う）人をも憎む」と、大軍を率いるエホバは言う。「自分の内面の傾向に気を付けなさい。裏切り

をしてはならない。コロサイ 3:19夫の皆さん、妻を愛し続けてください。ひどく怒って(*つらく当たって)はなりません。を読む。) 主題の聖句のペテロ第一 3章7節同じように、夫の皆さん、知識に基づいて(*思いやりを示しつつ/理解を示しつつ)妻と暮らしてください。女性はより繊細な器ですから、妻を大切に(*尊重)しましょう。妻たちも皆さんと一緒に、命という惜しみない恵みを受けるのです。妻を大切にするなら、祈りが妨げられることはないでしょう。によると、夫は妻を大切にしないならエホバとの友情を壊してしまう危険があります。エホバに祈りを聞いてもらえなくなる可能性さえあります。

7. エフェソス 4章31, 32節によると、夫はどんなことを避ける必要がありますか。(「語句の説明」も参照。)

7 **言葉の暴力。**妻に怒りをぶつけたり、ひどいことを言ったりする人もいます。でもエホバは、「怒り、憤り、わめき、暴言」を憎んでいます。*語句の説明: 「暴言」には、侮辱的な言葉や厳しい言葉を浴びせること、何度も批判することが含まれます。悪意のある言葉や、尊厳を傷つけたりばかりにしたりする表現はどんなものでも暴言に当たります。 (エフェソス 4:31, 32あらゆる悪意、怒り、憤り、わめき、暴言など、一切の有害な事柄を捨て去ってください。 32 親切な人になり、温かい思いやりを示し合い、神がキリストによって寛大に許してくださったように、寛大に許し合いましょう。を読む。)
エホバは全部聞いています。誰も見ていない家の中にいる時を含め、夫が妻にどのような話し方をしているかをエホバは気に掛けています。夫が妻にひどいことを言うなら、結婚関係だけでなくエホバとの友情にもひびが入ります。 (ヤコ 1:26自分は神を崇拝している(*信心深い)と思っていても、舌(*言葉)を制御して(*にくつわを掛けて)いないなら、その人は自分の心を欺いています。その人の崇拝は無意味です。)

8. エホバはポルノをどう見ていますか。どうしてですか。

8 **ポルノを見ること。**エホバはポルノを憎んでいます。それで、ポルノを見る人はエホバとの友情を壊します。妻の尊厳も傷つけます。*jw.orgかJW Libraryの「夫婦仲を引き裂くポルノ」という記事をご覧ください。(ライブラリー > シリーズ記事 > 家族のために) エホバは夫に対し、妻だけを心から愛することを求めています。それには、行動だけでなく何を考えるかも関係しています。イエスは妻以外の女性を性的な関心を持って見る人は、すでに「心の中で」姦淫をしたと言いました。*夫がポルノを見ている場合、「ものの塔」2023年8月号の「配偶者がポルノを見ているなら」という記事が助けになるでしょう。 (マタ 5:28, 29しかし私は言います。女性を見続けて情欲を抱く人は皆、すでに心の中で姦淫をしたのです。 29 そこで、もし右目があなたに罪を犯させているなら、えぐり出して捨て去りなさい。体の一部を失う方が、全身をゲヘナに投げ込まれるよりは、よいのです。)

9. 妻を性的に辱めることをエホバが憎んでいるのはどうしてですか。

9 **妻を性的に辱めること。**夫の中には性関係において、妻を辱めたり、汚れているとか愛されていないと感じさせたりする人がいます。エホバはこうした冷酷で思いやりのない行動を憎んでいます。夫が妻を愛し、大切にし、妻の気持ちを尊重することを願っているからです。 (エフェ 5:28, 29同様に、夫は自分の体を愛するように妻を愛するべきです。妻を愛する人は自分を愛しているのです。 29 誰も自分の体を憎んだりはせず、養って大切にします。キリストも会衆を養つ

て大切にします。) では、クリスチャンの夫がこれまで考えてきたようなひどいことを妻にしたり、ポルノを見たりしている場合、自分の考え方や行動を変えるためにどんなことができるでしょうか。

妻を傷つける行いをやめる

10. 夫がイエスの手本について考えるとよいのはどうしてですか。

10 夫は妻に対するひどい行いをやめるためにどんなことができるでしょうか。イエスに倣うよう努力することが助けになります。確かにイエスは結婚したことがありませんでした。でも、イエスの弟子たちに対する接し方は、夫が妻に接する時の手本となっています。(エフエ 5:25夫は、キリストが会衆を愛したのと同じように、妻を愛し続けてください。キリストは会衆のために自分を差し出しました。) 一例として、イエスが使徒たちにどのように接し、どんな話し方をしたかを考えてみましょう。

11. イエスは使徒たちにどう接しましたか。

11 イエスは使徒たちの尊厳を大切にし、親切に接しました。人に厳しく当たったり、偉そうにしたりすることは決してありませんでした。弟子たちの主、また主人でありながらも、自分の力を見せ付けて権威を振りかざすようなことはせず、謙虚な態度で仕えました。(ヨハ 13:12-17イエスは弟子たちの足を洗い、外衣を着てから、再び食卓に着き、こう言った。「あなたたちにしたことが理解できますか。 13 あなたたちは私を『先生』や『主』と呼びます。それは正しいことです。私はそういう者だからです。 14 それで、主であり先生である私があなたたちの足を洗つたのであれば、あなたたちも足を洗い合うべきです。 15 私はあなたたちのために模範を示しました。あなたたちも同じようにするためです。 16 はっきり言っておきますが、奴隸は主人より偉くなく、遣わされた人は遣わした人より偉くありません。 17 あなたたちはこうしたことを知っていますが、それを実行するとき、幸せです。) イエスは弟子たちにこう言いました。「私から学んでください。私は溫和で、謙遜だからです。あなたたちは爽やかさを感じるでしょう」。(マタ 11:28-30疲れていて(if*労苦し/悪戦苦闘し)、荷を負い切れない人は皆、私の所に来てください。そうすれば、爽やかにしてあげましょう。 29 私と共に働く、私から学んで(*私の弟子(私から学ぶ人)になって)ください。私は溫和で、謙遜だからです。あなたたちは爽やかさを感じるでしょう。 30 私と共に働くことは心地よく(*私のくびき(てんびん棒)は負いやすく)，私が負わせる荷は軽いのです」。) イエスが溫和な人だったことに注目できます。温らかな人は決して弱い人ではありません。自分をコントロールできる強い人です。いろいろさせられるようなことがあったとしても、自分の感情をコントロールし、穏やかでいることができます。

12. イエスはどのような話し方をしましたか。

12 イエスは、ほかの人を慰めたり爽やかにしたりする言葉を選んで話しました。弟子たちに厳しい話し方をすることはませんでした。(ルカ 8:47, 48女性は、気付かれていたと分かり、震えながら進み出て、イエスの前でひれ伏し、イエスに触った理由とすぐに癒やされた様子を皆の

前で説明した。 48 イエスは言った。「あなたが良くなった(*救われた)のは信仰があったからです。安心して暮らしなさい。」) 反対者たちがイエスを侮辱して怒らせるようなことをしても、イエスは「仕返しをしたりしませんでした」。(ペテー 2:21-23 皆さんはこうした道に招かれました。キリストでさえ皆さんのために苦しみ、その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう手本を示しました。 22 キリストは罪を犯さず、欺きを語ったこともありませんでした。 23 侮辱され(*ののしられ)ても、仕返しをしたりしませんでした。苦しめられても、相手を脅したりせず、正しく裁く方に自分を委ねました。) 時には、厳しく言い返す代わりに黙っていることにしました。(マタ 27:12-14 しかし、祭司長と長老たちから訴えられている間、何も答えなかった。 13 そこでピラトは言った。「この人たちがあなたに不利な証言をこんなに多く行っているのが、聞こえないのか」。 14 それでも、イエスは一言も答えなかった。そのため総督はとても驚いた。) 確かにイエスはクリスチャンの夫のかがみといえます。

13. 夫はどうすれば「妻にしっかり付[く]」ことができますか。(マタイ 19:4-6) (写真も参照。)

13 イエスは夫に対して妻だけを心から愛するようにと教えました。お父さんエホバが以前に語ったことに触れて、夫は「妻にしっかり付[く]」べきであると言いました。(マタイ 19:4-6 イエスは答えた。「あなた方は読まなかつたのですか。人間を創造した方は、初めから男性と女性に造り、 5 『それで、男は父と母から離れて妻にしっかり付き、2人は一体となる』と言いました。 6 それで、2人はもはや別々ではなく、一体です。ですから、神が結び合わせた(d*くびきでつないだ)ものを、人が離してはなりません」。を読む。) ここで「しっかり付[く]」と訳されているギリシャ語動詞の直訳には、「のり付けする」という意味があります。それで夫婦はのり付けされているかのように強い絆で結ばれているべきです。夫婦のどちらかが絆を壊すようなことをするなら、夫と妻の両方が苦します。夫婦の絆を大切にしている夫は、どんなものであれポルノに当たるものを退けます。「無価値なものを見続けない」ように、すぐに目をそらします。(詩 119:37 私の目をそらさせてください。無価値なものを見続けないために。あなたの道で私を生き続けさせてください。) ヨブのように自分の目と契約を結び、ふさわしくない関心を持って妻以外の女性を見ないことを決意しています。(ヨブ 31:1 私は自分の目と契約を結んだ。だから若い女性に対して不適切な関心を向けることなどできない。)



妻だけを心から愛する夫はポルノを見たりしない。(13節を参照。)

*写真や挿絵: エホバの証人ではない同僚が兄弟にポルノ雑誌を見せようとしている。

14. エホバや妻との関係を修復するためには、どんな点に取り組む必要がありますか。

14 妻に暴力を振るったりひどいことを言ったりしている人は、エホバや妻との関係を修復するために、次の点に真剣に取り組む必要があります。まずは、自分が深刻な問題を抱えていることや、エホバの目から隠せるものは何もないということを認めます。（詩 44:21神は気付くのではないか。神は心の秘密を知っている。伝 12:14真の神は、人からは見えない事も含め、あらゆる行いについて、その善悪を裁くからだ。ヘブ 4:13そして、神の目を逃れられる創造物は一つもなく、全てのものは神から見て裸で、さらけ出されており、私たちはこの方に責任を問われることになります。）2つ目に、妻にしているひどいことをやめ、態度を改めます。（格 28:13自分の違反を隠す人は成功しないが、それを告白して捨てる人は憐れみを示される。）3つ目に、妻とエホバに謝り、許しを求めます。（？使徒 3:19ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバから来て、）また、自分を変化させるための意欲を与えてくださいるようにエホバにお願いすると同時に、自分の考えや言葉や行動をコントロールするための助けを与えてくださるように祈ることも大切です。（詩 51:10-12神よ、私の内に清い心をつくってください。新たな精神、揺らぐことがない精神を持たせてください。11 あなたの前から私を追い払わないでください。聖なる力(*)を私から取り去らないでください。12 あなたによる救いの喜びを再び味わわせてください。あなたに進んで従う気持ちを私の内に呼び起こしてください。コリ二 10:5私たちは、神の知識に逆らって立つ一切の高い障壁や、さまざまな理論を打ち碎いています。また、一切の考えをいわば捕虜にし、キリストに従わせています。フィリ 2:13神はご自分の望みを実現するために皆さんを力づけてくださいます。行動するための意欲と力の両方を与えてくださるのです。）4つ目に、どんな暴力的な言葉や行いも憎むように努力することによって、自分の祈りに沿って行動します。（詩 97:10エホバを愛する人たち、悪を憎め。神はご自分に尽くす(*を搖るぎなく支持する/から離れない)人たちの命を守っている。その人たちを悪人の手から助け出す。）5つ目に、会衆の愛情深い長老たちにすぐに助けを求めるることも忘れないでください。（ヤコ 5:14-16病気の人がいますか。その人は会衆(*)の長老たちを呼んでください。そして、自分のために祈ってもらい、エホバ(*)の名によって油を塗ってもらってください。15 信仰の祈りは病気の人(if*疲れている人)を良くし、エホバ(*)がその人を起き上がらせてくれます。また、その人が罪を犯したのであれば、許されます。16 ですから、互いに罪を告白し、互いのために祈ってください。そうすれば癒やされます。正しい人の祈願には大きな力があります。）6つ目に、同じ間違いを繰り返さないようにするにはどうすればよいか具体的に考えます。」ポルノを見ている場合も、夫はこうした6つの点に同じように取り組む必要があります。自分の行動を改めるために努力するとき、エホバは必ず助けてくださいます。（詩 37:5あなたの道をエホバに委ね(d*の上に転がし)，神に頼れ。神があなたのために行動してください。）でも、妻を傷つけるような行いをただやめるだけでは十分ではありません。妻を大切にしていることが伝わるようにする必要があります。では、どうすればそうできるでしょうか。

妻を大切にする

15. 夫はどのようにして、妻を愛していることを伝えられますか。

15 愛していることを伝える。幸せな結婚生活を送っている兄弟たちは、妻を愛していることを毎日伝えるようにしています。（ヨハ一 3:18 子供たち、口先だけの愛になってしまわないよう、行動によって誠実に愛を表しましょう。）ちょっとしたことでも愛情を伝えることができます。手を握ったり、優しくハグしたりすることができるかもしれません。また、「今何してる？」とか「ご飯食べた？」といったメッセージを送ることもできるでしょう。時々、自分の気持ちをカードに書いたり花をプレゼントしたりすることもできます。このように夫が妻を大切にするなら、2人の絆は強まります。

16. 妻を褒めることが大切なのはどうしてですか。

16 感謝を伝える。妻を大切にしている夫は、①妻が元気になる言葉を掛けます。例えば、いろんな面で支えてくれていることへの感謝を忘れずに伝えることができます。（コロ 3:15 また、キリストによる平和が心に満ちる（*心を制御する）ようにしましょう。皆さんは1つの体となって平和を得るために招かれたからです。感謝を表しましょう。）②夫が妻を心から褒めるなら、妻は幸せな気持ちになります。安心でき、愛され大切にされていると感じます。（格 31:28 彼女の子供たちは立ち上がって彼女を褒め、夫も立ち上がって称賛する。）

17. 夫はどうすれば妻の尊厳を大切にすることができますか。

17 妻の尊厳を大切にし、優しく接する。妻を愛している人は、妻を世界でたった1人のかけがえのない存在と見て大切にします。妻のことをエホバからもらった素晴らしいプレゼントだと考えます。（格 18:22 良い妻を見つけた人は幸せを見つけた。そしてエホバの恵み（*善意）を受ける；31:10 有能な（*素晴らしい）妻を誰が見つけられるだろうか。彼女はサンゴ（*）よりもはるかに貴い。）それで、夫婦の間でより親密でプライベートな時間を過ごす時であっても、妻の尊厳を大切にし、優しく接します。性関係において、妻を辱めたり不快に感じさせたり良心にとがめを感じさせたりするようなことはしません。＊聖書には、夫婦間の性行為について何が清くて何が汚れているか、詳しくは書かれていません。クリスチャンの夫婦はこの点で、エホバへの敬意が表れていて、お互いが喜ぶことができ、清い良心を保てるような決定をする必要があります。多くの場合、夫婦は結婚のこのプライベートな面についてほかの人と話し合うことはしないでしょう。もちろん、この点で夫自身もエホバの前で清い良心を保つようにする必要があります。（使徒 24:16 ですから、神と人の前で良心にやましいところがない（*非難されるところがない）よう、絶えず励んでいます。）

18. 夫はどんな点を決意できますか。（「妻に敬意を示す4つの方法」の囲みも参照。）

18 夫の皆さん、生活のいろいろな面で妻を大切にしようと努力する皆さん姿を見て、エホバは喜んでいます。妻を傷つけるようなことをせず、尊厳を大切にし、優しく愛情を込めて接するようしてください。そうするなら、妻を愛し、大切にしていることを伝えられます。妻を大切にするなら、最も貴重なエホバとの友情を守ることができます。（詩 25:14 エホバは、ご自分を畏れる人を親しい友とし、契約を知らせる。）



妻に敬意を示す4つの方法

クリスチャンは他の人に親切に接するべきです。 (コロ 4:6 塩で味付けされた快い言葉を語るよう心掛けましょう。 そうすれば、誰に対してもどのように答えるべきかが分かります。) 夫は、妻と話す時や、妻について話す時に、このアドバイスをどのように当てはめられるでしょうか。

1. エホバに倣って丁寧な話し方をしましょう。「お願いしてもいい?」とか「ありがとう」など、親切な言葉を使うことができます。(創 13:14 ロトがアブラムと別れた後、エホバはアブラムに言った。「(参資/どうか,) 目を上げ、東と西、北と南をご覧なさい; 15:5 神はアブラムを外に連れていき、こう言った。「(参資/どうか,) 天を見上げ、星を数えてごらんなさい。もしも数えることができるのなら」。そして言った。「あなたの子孫(d*種)も星のように多くなる」。) そういうするなら、妻に対してマナー良く接することができるだけでなく、敬意を示すことができます。

2. 妻がしていることを褒めましょう。(格 31:28, 29 彼女の子供たちは立ち上がって彼女を褒め、夫も立ち上がって称賛する。 29 「有能な(*素晴らしい)女性は多いが、あなたは、あなたは誰よりも優れている」。) 妻の失敗を他の人に話すようなことはしません。(詩 50:20 あなたは座って兄弟を非難する。自分の母の子の落ち度を明かす(*子をけなす))

3. 「人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話し……てはなりません」。(ヤコ 1:1
9 私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話したり、すぐに怒ったりしてはなりません。)

4. 感情的になりそうな話題のときも、穏やかに話しましょう。(コロ 3:8 しかし今は、それらを全て捨て去らなければなりません。憤り、怒り、悪い行い、暴言、口から出る下品な(*みだらな)言葉を捨て去りなさい, 12 それで、皆さんは神に選ばれ、神に愛される聖なる人たちですから、温かい思いやり、親切、謙遜さ(*自分を低く見る考え方), 温和、辛抱強さを身に着けましょう



夫は次のアドバイスをどのように実践できますか

1. **コロサイ 3:19** (夫の皆さん、妻を愛し続けてください。ひどく怒って(*つらく当たって)はなりません。)

・S06 エホバは暴力的な人などを憎んでいるので、夫が妻を大切にせず暴力を振るうなら、エホバとの友情を壊してしまう危険がある。またエホバに祈りを聞いてもらえなくなる可能性さえある。(ペテー3:7)それで夫は妻への暴力を避けなければならない。

2. **エフェソス 4:31, 32** (あらゆる悪意、怒り、憤り、わめき、暴言など、一切の有害な事柄を捨て去ってください。 32 親切な人になり、温かい思いやりを示し合い、神がキリストによって寛大に許してくださったように、寛大に許し合いましょう。)

・S07 夫が妻にどのような話し方をしているかをエホバは気に掛けているので、夫が妻にひどいことを言うなら、結婚関係だけでなくエホバとの友情にもひびが入る。それで夫は、怒り、憤り、わめき、暴言を避けなければならない。

3. **マタイ 19:4-6** (イエスは答えた。「あなた方は読まなかつたのですか。人間を創造した方は、初めから男性と女性に造り、 5 『それで、男は父と母から離れて妻にしつかり付き、2人は一体となる』と言いました。 6 それで、2人はもはや別々ではなく、一体です。ですから、神が結び合わせた(d*くびきでつないだ)ものを、人が離してはなりません」。)

・S13 イエスが、夫は「妻にしつかり付[く]」べきであると述べたとおり、夫婦は強い絆で結ばれているべき。夫婦の絆を大切にしている夫は、どんなものであれポルノに当たるもの退ける。

131番の歌 「神が結び合わせたもの」

夫の皆さんは「ものの塔」2024年1月号の「[エホバと同じように女性を大切にしていますか](#)」という記事をぜひお読みください。

家庭内暴力を受けている場合、jw.orgかJW Library®の「[DVで悩んでいるあなたへ](#)」という記事が助けになるかもしれません。(ライブラリー > シリーズ記事 > ほかのトピック)